

フラワーセンター跡地の活用策を示せ

答 弁 次期総合計画策定の中で対応する

Q 市が検討した跡地計画と住民の反対を受け頓挫した内容とこれまでの対応状況について問う

A 令和8年度末までに策定する能美市総合計画の中で、持続可能なまちづくりにつながる跡地活用の実現を目指してしっかりと対応していきたい。



山田 剛 議員
能美保守の会

A 福島グランパーク周辺の産業集積を背景に、跡地を従業員に移住・定住の受皿として民間事業者売却し、宅地造成を検討する方針を示した。地元説明会では事前の相談不足や営農・コミュニティへの影響を懸念する声があり、地域の意見を踏まえ、拙速な跡地利用を進めることは控え、市民の要望に応えられるよう活用に取り組む。

Q 跡地の土地利用および利活用促進に向けた具体的な対策、民間活力の導入や市民参加の仕組みについて、どのように検討しているのか問う



▲根上フラワーセンター跡地の現状

こんな質問も
・公共施設の役割を終える施設の管理と活用方針



高齢者入浴サービスを復活せよ

答 弁 持続可能な事業とするため変更する

Q 65才以上の市民への入浴サービス制度を復活すべきと考えるが市の見解は

A 持続可能な事業にするため、今年度から対象者を非課税世帯のみに変更した。市では、今年度、市内温浴施設を巡るスタンプラリーや、市内施設の利用割引を行う「いきいきプラチナキャンペーン」の対象施設に公衆浴場を追加したので、この取組を通して市民に公衆浴場を知ってもらうきっかけになればと考えている。

A 回数券については、市外利用者に比べ、市内利用者を割安に設定している。昨今の燃料費高騰と利用者増加による混雑軽減の観点からも、入浴料金について検討していきたい。



いの 修平 議員
能美保守の会

Q 辰口福祉会館内のふろさと温泉の入浴料金に、市民と市外からの利用者で差を持たせ、収益が増えた分は施設維持費に回すべきと考えるが、市の見解は



▲市内唯一の公衆浴場である寺井湯

こんな質問も
・特殊詐欺防止
・燃料価格高騰の支援金



能美電車両を活用する狙いは何か

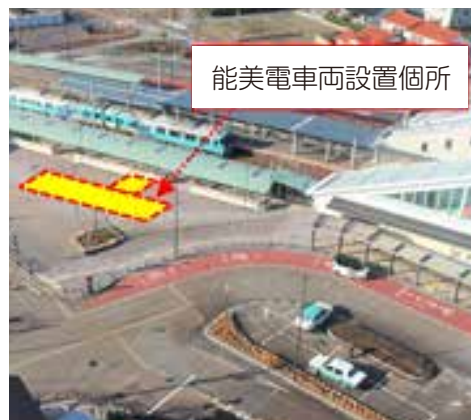
答 弁 ふるさとへの愛着を育む契機にしたい

Q 能美電車両を活用することとした狙いを問う

A 今年は能美電開通100年、廃線45年の記念すべき年であり、能美電の駅があった場所に本市の歴史的シンボルを置き、能美市の歴史を後世に伝え、ふるさとに対する愛着を更に育む契機にしたい。

Q 車両の日々の管理や、無人店舗ということでは、ブルがあつたときの対応、また、商品管理や店舗運営など、管理運営をどのように行う予定なのか

A 持続可能で質の高いサービスを提供するため、民間事業者による指定管理者制度を導入する予定である。



▲能美電車両設置箇所

こんな質問も
・地域福祉の根幹を支える民生委員・児童委員



クマ出没対策について問う

答 弁 市民の安全を最優先に取り組む

Q 人とクマの住む領域の住み分けについて問う

A クマが茂みに隠れないよう見通しを確保し、人とクマの領域を住み分け、安全で安心して暮らせる地域環境の確保に努める。

Q 市有害鳥獣捕獲隊への支援策と人材確保について問う

A 有害鳥獣捕獲隊は鳥獣被害の防止の安全確保に重要な役割を担っている。新規隊員の加入促進が課題であり、猟銃所持に必要な経費も補助し、負担軽減を図っている。イベント等を通じて引き続き支援を行い、人材確保に取り組む。



▲人里に降りてきたクマ

Q 小中学生への鳥獣対策教育について問う

A リーフレットを活用し、生徒が学ぶ機会を設ける予定である。クマの特性を理解し、身を守る知識とスキルを身につけられるように努める。



ひがし 正幸 議員
能美保守の会



なかむら 純子 議員
能美保守の会

市教育センターの 移転について問う

答 弁 周辺施設を活用し
不登校児を支援する

みなみやま
しゅういち
南山 修一 議員
流和のみ



Q 生活支援ハウス廃止後、
同施設を教育センターと
してどのように活用するの

A 隣接するサンテ2階にあ
ることも相談ステーション
と、より一層業務の効率化と
連携強化を図ることができると
考えている。交通面では、サン
テ前には連携ルートのみバスの
停留所があり、児童生徒もバス
を利用して通室することが可能
となり、保護者の負担軽減にも
つながると考えている。

また、生活支援ハウスの2階
を利用し社会福祉法人が進める
就労準備支援、ひきこもり支援
の事業は教育センター移転後も
継続し、教育センター職員と
チーム相互で支援することを通
じて、子ども、若者の社会発達

が促進される。
このように、移転によるメ
リットを最大限に生かし不登校
児童生徒一人ひとりの個性を尊
重した支援のさらなる充実を
図っていく。



▲能美市教育センターとなる生活支援ハウス

こんな
質問も

- ・ 学校支援
- ・ 耕作放棄地
- ・ 動物緩衝帯整備



下ノ江町サントウン 治水対策を問う

答 弁 内外水一体型
氾濫モデルを活用する

なかの
ひろし
中野 廣志 議員



Q 令和4年8月豪雨以降に
実施した浸水被害を減ら
すための取組について問う

A 小松市と一緒に手取川宮
竹用水土地改良区との間
で治水協力協定を締結。大雨が
予想される際には宮竹用水を一
時的に停水して浸水被害の軽減
を図る。また、避難路確保とし
て、歩道縁石を一部撤去し、取
り外し可能な車止め柵の設置整
備等の対策を実施した。

Q 下ノ江町サントウン地域
の内外水浸水対策に関する
方針について問う

A 当該地域が宮竹用水に囲
まれた地形的条件にあ
り、内水・外水氾濫の影響も強
く受ける区域であることに留意

する必要がある。現在は、内外
水一体型氾濫モデルを活用し、
浸水の範囲や程度などを整理す
る氾濫解析を実施したうえで、
浸水発生要因を検証・評価し、
調整池をはじめとする治水対策
の検討を進めている。



▲冠水した道路と田んぼ

こんな
質問も

- ・ 物流業者の支援
- ・ 総合学習の役割



民営化した認定 こども園の効果は

答 弁 質の高い教育・保育の
情報を共有している

いまお
こうじ
今尾 晃司 議員
流和のみ



Q 民営化した認定こども園
が本市の幼児教育・保育
にもたらした効果を問う

A 公立認定こども園への波
及効果として、今年度は
モデル的に2園で異年齢保育を
導入、他の園では園外保育や給
食等で異年齢が触れ合う時間を
設けている。

公立園と民間園において、合
同保育や研修を通じ意見交換を
行い、情報を共有している。

Q 保育の内容、保育士の働
き方について、市が新た
に取り組んでいることを問う

A 年齢ごとの子の発達・成
長に合わせた保育を大切
にしながら、異年齢保育を取り
入れ、協調性や社会性、年上の

子が年下の子に自然に配慮し、
相手を思いやる気持ちを育む保
育に取り組んでいる。保育士の
働き方では、帳簿様式や運用の
見直し、安全性確保、デジタル
帳票の一層の活用など、事務負
担の軽減を検討している。



▲園児、保護者、保育士にとってよりよい環境に

こんな
質問も

- ・ 動物愛護猫事業
- ・ 教員による児童生徒の盗撮等



公共ライドシェアの 拡充を

答 弁 魅力度向上と
利用者拡大を図る

せんたい
けんぞう
仙台 謙二 議員
公明党



Q 公共ライドシェア「ノル
ノミ」の課題は何か

A 利用料金・予約方法、ド
ライバーの確保や事業の
コストバランスを考慮した財源
の問題など多くの克服すべき課
題がある。採算性を確保し事業
運営を維持するため、運行区域
や事業形態など、先進事例等も
参考に、適時適切に判断する。

Q 利用可能な地域やルート
を拡充せよ

A のみバスの運行本数減少
等を補完するため、役割
を再検証し、のみバス運行エリ
アとの整理を図る。また、ライ
ドシェア事業と公共施設の利用
や買物代行サービスなど、他の
行政サービスと組み合わせた

サービスとしてサブスクリプ
ション方式の導入の調査検討を
始めた。対象エリアの拡大や
ルート等の拡充についてニーズ
を把握しながら、運行中の国造
地区周辺10町会でのライドシェ
アの利用者拡大に努める。



▲能美市版公共ライドシェア「ノルノミ」ロゴマーク

こんな
質問も

- ・ 元気高齢者報奨
- ・ 認定こども園
- ・ 水道劣化対策



地域共生交流館 改築工事の全体像は

答 弁
総事業費は
12億円超えに膨らむ

澤田 貞 議員
さわだ ただし
清風



Q 入札不調から落札までの経緯、工事内容を問う

A 見積参加業者の聴き取りを分析し、単価の精査及び工期の再検討を実施。工事費増額と工期延長が避けられず、既決予算の範囲内で設計の見直しを行った上で再度入札を実施し、今回の落札に至った。

Q 今後発注予定の工事費と全体の事業費、それらの財源について問う

A 建築工事に加え、電気設備や機械設備工事、管理業務委託を含めた全体事業費は現時点で12億円を超える見込みである。財源は地方経済生活環境創生交付金を予定し、追加工事分も本交付金の活用を考えている。

Q 工事期間中の安全対策について問う

A 臨時駐車場からのルートに手摺付きスロープを設置、要支援者へは既存施設正面の植栽を撤去し、思いやり駐車場の確保に安全に配慮する。



▲地域共生交流館の起工式会場（9/25）建設現場

こんな質問も

- ・本庁舎防災機能強化事業
- ・駅周辺活性化



障がい者雇用の マッチングを

答 弁
仕組みづくりを
検討する

田中 策次郎 議員
たなか さくじろう
絆



Q 障がいのある方やご家族そして事業者への障がい者雇用の情報提供量が少ない。

障がい者の就職を心配するご家族と、雇用を望む事業者をつなぐため、雇用の仕組みや支援制度を分かりやすく発信し、障がい者が多様な仕事先から選べるようなマッチングの仕組みをつくらないか

理解促進や顔の見える関係づくりを進めている。

今後は、市商工会や関係部署と協力し、障害者雇用の理解を深める機会やマッチングの仕組みづくりを検討していく。



▲障がい者雇用に選択肢を

こんな質問も

- ・太陽光発電導入不登校の子どもたちの支援



市は介護保障の 公的責任果たせ

答 弁
安定的にサービスを
提供できるよう支援

近藤 啓子 議員
こんどう けいこ
日本共産党



Q 社会保障を受けることは国民の権利である。市は介護保険の保険者として介護保障の充実をはかる公的責任があるのではないか

A 市は保険者としてすべての市民の保健医療の向上及び福祉の増進を果たすものと考えている。

介護分野は経営環境の厳しさが顕在化している。介護サービス基盤を持続可能なものとして、安定的にサービスを提供していくよう支援することが市の公的責任と考える。

Q 「はまなすの丘」の統廃合問題は、介護保険制度の矛盾の表れである。利用者や市民に負担をかけてよいのか。

A 利用者の不安軽減に支援相談員等とともに、利用者の心身の状況や経済状況、家族関係等を総合的に検討し、不安なく適切な施設へ移行できるよう丁寧な対応に努める。



▲介護保険事業を定めた第9期いきいきプラチナプラン

こんな質問も

- ・物価高騰対策
- ・障がい者医療支援



辰口丘陵公園の 将来像は

答 弁
南加賀地域の
交流拠点である

北村 周士 議員
きたむら しゅうし
能美保守の会



Q 辰口丘陵公園のにぎわい創出について県知事は「土地の所有者である能美市が辰口丘陵公園の周辺エリアも含めたにぎわい創出について具体的にどのようになっているのか、井出市長の考えをお聞きしたい」と言及している。

全天候型施設などの充実を含め、市長はどのように考えているか

A 辰口丘陵公園周辺エリアは、南加賀地域の交流拠点であり、石川県と能美市が連携して、整備、充実を図ることが必要だ。

県には辰口丘陵公園の集客力向上のため、例えば猛暑や降雪時にも利用可能な全天候型の大型屋内遊戯施設の整備による利

用促進や、いしかわ動物園の魅力向上を図っていただきたいと考えている。

県と市が協議を重ねる機会を設け、南加賀地域の交流拠点として周辺エリアのさらなるにぎわい創出に努めていく。



▲全天候型屋内遊戯施設の整備が求められる辰口丘陵公園

こんな質問も

- ・博物館の充実
- ・中学校吹奏楽部の地域展開



市からの避難時の 注意喚起を問う

答 弁
各種啓発活動を
継続して取り組む

荒井 昌宏
能美保守の会 議員



Q 高齢者や障がいのある方の避難について問う

A 優先度の高い土砂災害警戒区域にお住まいの人から順に個別避難計画を作成し、誰一人取り残さない災害に強いまちづくりに努めていく。

Q 各町会・町内会との日頃からの連携は

A 出前講座の実施、防災訓練時の資器材の貸出しや地域避難所の認定サポートを積極的に行い、誰一人取り残さずに安全な場所に避難できるよう防災意識の啓発に努めていく。

Q 市から日常的に避難時の安全確保についての注意喚起を行っているのか

A 日常的な注意喚起としては、防災ガイドブックやハザードマップを通じた取組を進めている。市民が安全かつ迅速な避難行動を取れるように平時から注意喚起となる各種啓発活動を継続していく。



▲令和4年8月豪雨の様子

こんな質問も

・能美市消防団について



議会活性特別委員会のこれまでの取組

議会活性特別委員会では議長からの諮問を受け、能美市議会における政策提言の手法を確立するため、調査・検討を進めてきました。今回はその取り組みの一部をお伝えします。

- 1 政策提言のプロセスの確立や政策形成サイクルの確立を図るために岩手県一関市と奥州市への行政視察を行った。**両市議会とも常任委員会を主体とした政策提言・政策立案の手法**をとっており、能美市議会にも生かせる点があった。



一関市議会視察時の様子

- 2 令和6年度から意見交換会で聴取した市民からの意見や要望を政策提言に生かすために、各常任委員会で実施している**所管事務調査と意見交換会のテーマを連動させている**。これにより、執行部への提言も含めた報告を行っている所管事務調査の一環として意見交換会に組み込むことで、市民の声を報告書に盛り込む。



意見交換会の様子

能美市議会では今後、政策提言に係る手順並びに様式を定型化すること、常任委員会における代表質問の導入について検討していく予定です。今後とも議会の活性化を図ってまいります。



デジタル公民館の さらなる活用を

総務産業常任委員会 デジタル公民館の活用について



地域の拠点となる公民館にWiFiを整備したデジタル公民館の活用について、さらなる推進を図るため調査・研究を行ってきた。これまでの活動を踏まえて、次のとおり提言する。

市への政策提言 ※一部抜粋

- 1 町会・町内会と連携し、中山間地域の高齢者等がどのようなサービスが求められているのかといったニーズ把握が必要
- 2 オンライン診療においての利便性と現状を発信するべき
- 3 スマート物流サービスが地域を巻き込んだ総合的な事業として、買い物代行＋共同配送＋ドローン配送＋フードデリバリー＋ライドシェア等へと展開していくべき



報告書の全文は市議会ホームページでご覧いただけます。

能美市に合った学校活動の 地域移行を目指して

教育福祉常任委員会 学校部活動の地域展開について



中学校の部活動の様子

現在、能美市で進めている学校活動の地域展開について、さらなる定着と充実を図るため調査・研究を行ってきた。これまでの2年の活動を踏まえて、次のとおり4点提言する。

市への政策提言

- 1 地域展開の理念の共有と丁寧な情報提供を行うこと
 - 2 人員体制の強化を行うこと
 - 3 保護者の送迎や費用負担の軽減を図ること
 - 4 すべての子どもたちが安心して部活動に参加できる環境を整備すること
- 子どもの無限の可能性を地域全体で支え、育てていくために、当委員会としても引き続き地域展開の実態を注視し、必要な支援と提言を行っていく。

学校部活動の地域展開とは？

単に部活動の運営主体を学校から地域へと移行するのではなく、地域全体で子どもたちの活動を支えるという包括的な理念に基づく改革。